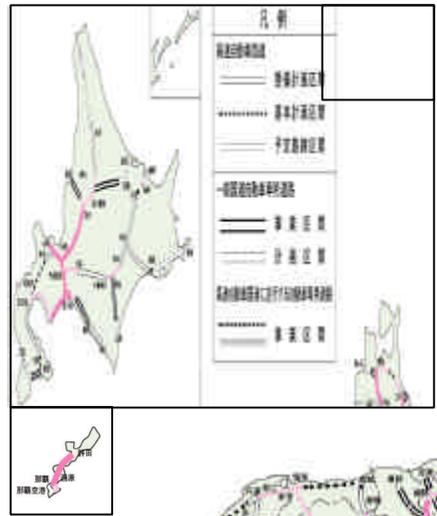
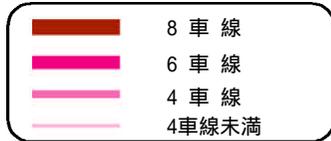
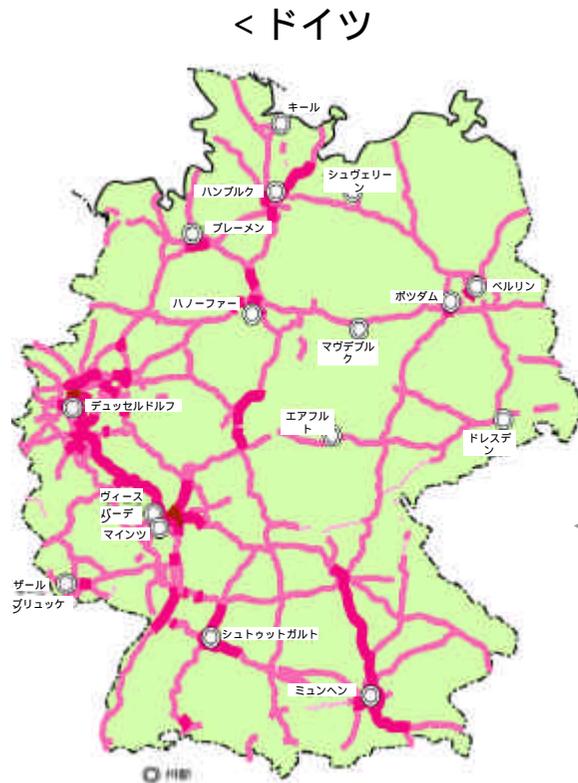


4. 個性ある地域形成と国土の有効活用

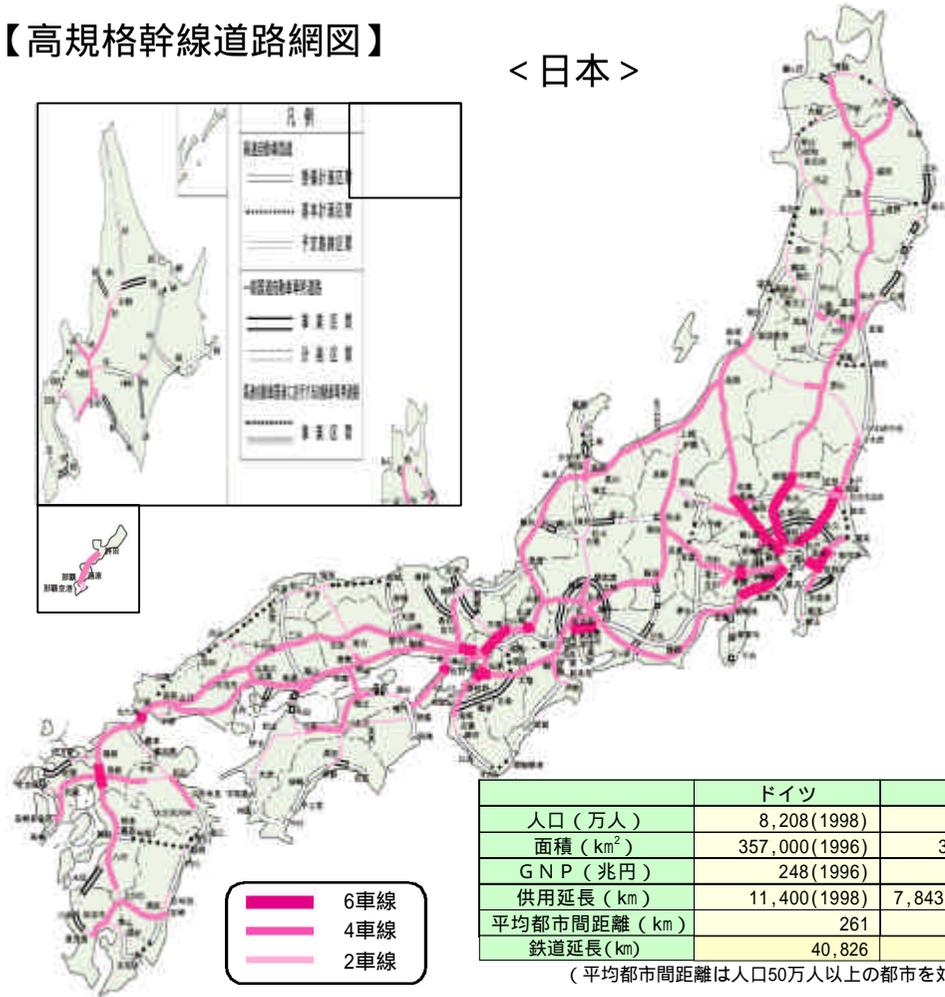
(1) 広域交流・地域間連携の促進

全国高速ネットワークの整備により、移動の効率化を進め、地方の個性ある活性化、まちづくりを支援

【高規格幹線道路網図】



同縮尺

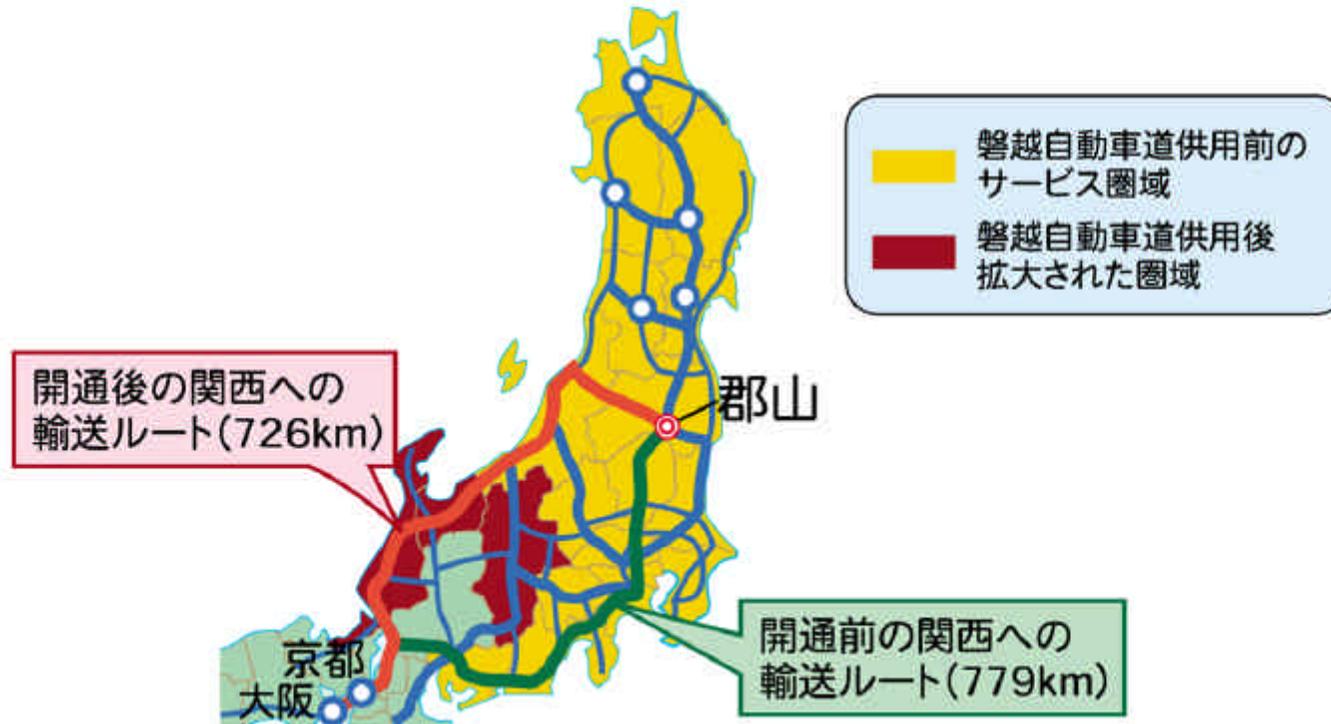


	ドイツ	日本
人口 (万人)	8,208(1998)	12,649(1998)
面積 (km ²)	357,000(1996)	378,000(1996)
G N P (兆円)	248(1996)	520(1998)
供用延長 (km)	11,400(1998)	7,843(H12年度末)
平均都市間距離 (km)	261	491
鉄道延長(km)	40,826	23,671

(平均都市間距離は人口50万人以上の都市を対象)

磐越自動車道いわき新潟線の供用により、南東北～関西間の物流が格段に活性化。

磐越自動車道開通による翌朝 10:00 指定配送圏域の拡大
(南東北終日集荷で翌日 10:00 配送可能圏域)



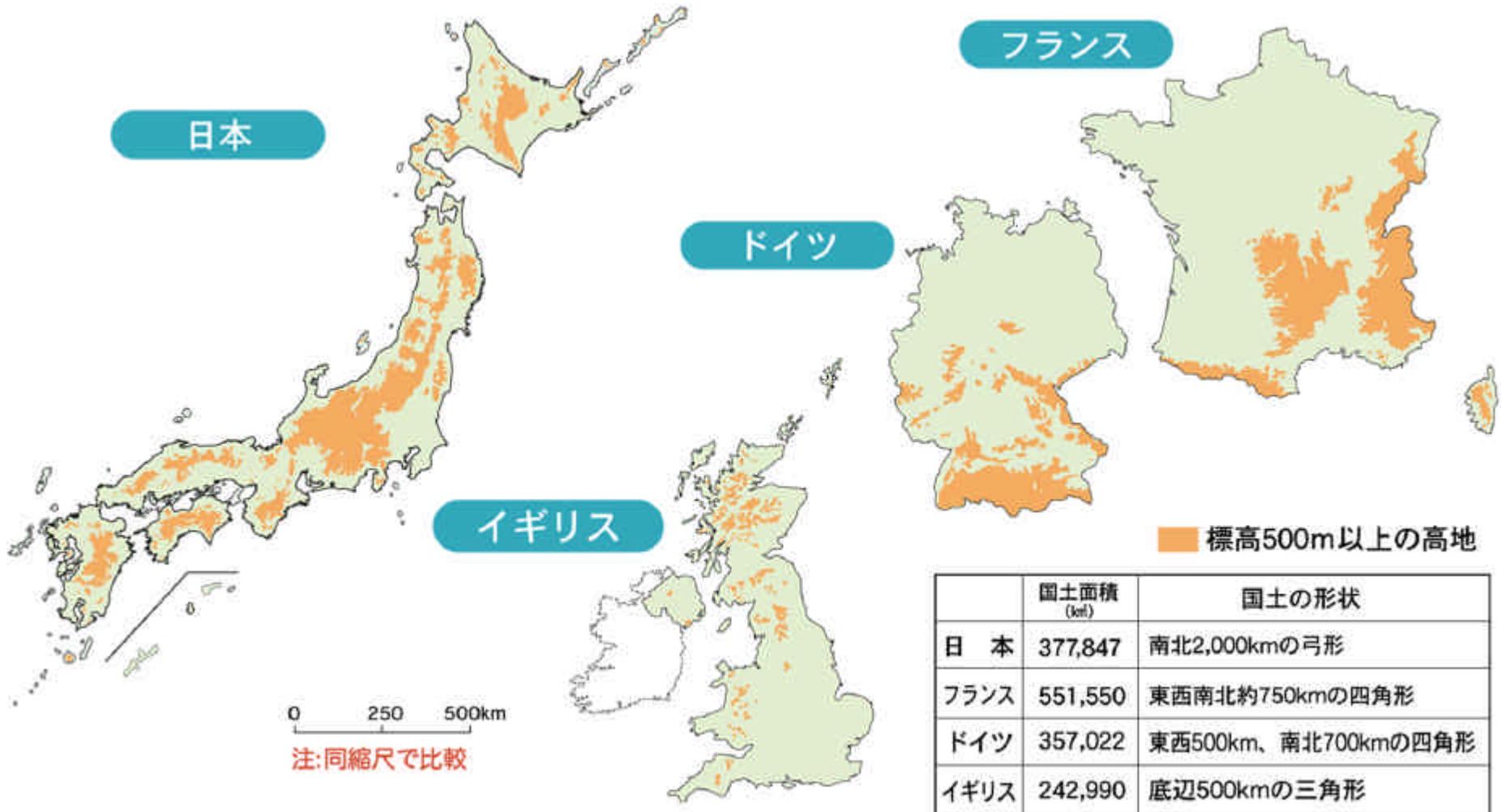
(2) 安全・安心な暮らしの確保

脆弱な国土と厳しい自然条件

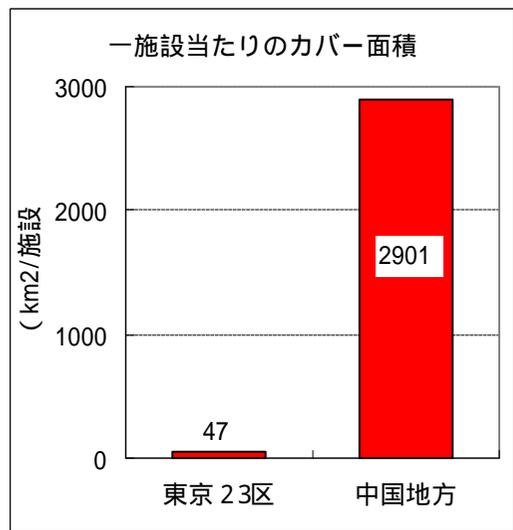
① 国土形状	南北 2,000 km に及ぶ 細長い国土
② 四島	海峡による 陸地の分断 。多数の島しょ部
③ 脊梁山脈	国土の中央部を 山地が分断
④ 構造線	中央構造線 、 糸魚川ー静岡構造線 が南北に走る
⑤ 平野	海岸線に 狭い平野 が連なっている(国土全体の約14%)
⑥ 軟弱地盤	大都市のほとんどが 軟弱地盤 の上にある
⑦ 地震	日本とその周辺で世界の 地震の約10%が発生
⑧ 豪雨	多雨多湿 (年間平均降水量 1,714 mm、ヨーロッパの約2倍)。河川勾配が急
⑨ 豪雪	国土の 6 割が積雪寒冷地域 (多くの都市が年間累計降雪深4 m 超)

わが国の国土は細長いうえに、中央部を脊梁山脈によって貫かれている。

平地は脊梁山脈によって分断され、海岸沿線を縁取るように分布している。



大都市圏では高度医療施設が多数配置されているが、地方圏では中心都市にのみ配置されており、到達時間を短縮するうえで道路整備が重要な役割。



	第三次救急医療施設	面積 (km ²)	一施設当たりのカバー面積 (km ² /施設)
東京 23区	13	614	47
中国地方	11	31,913	2901

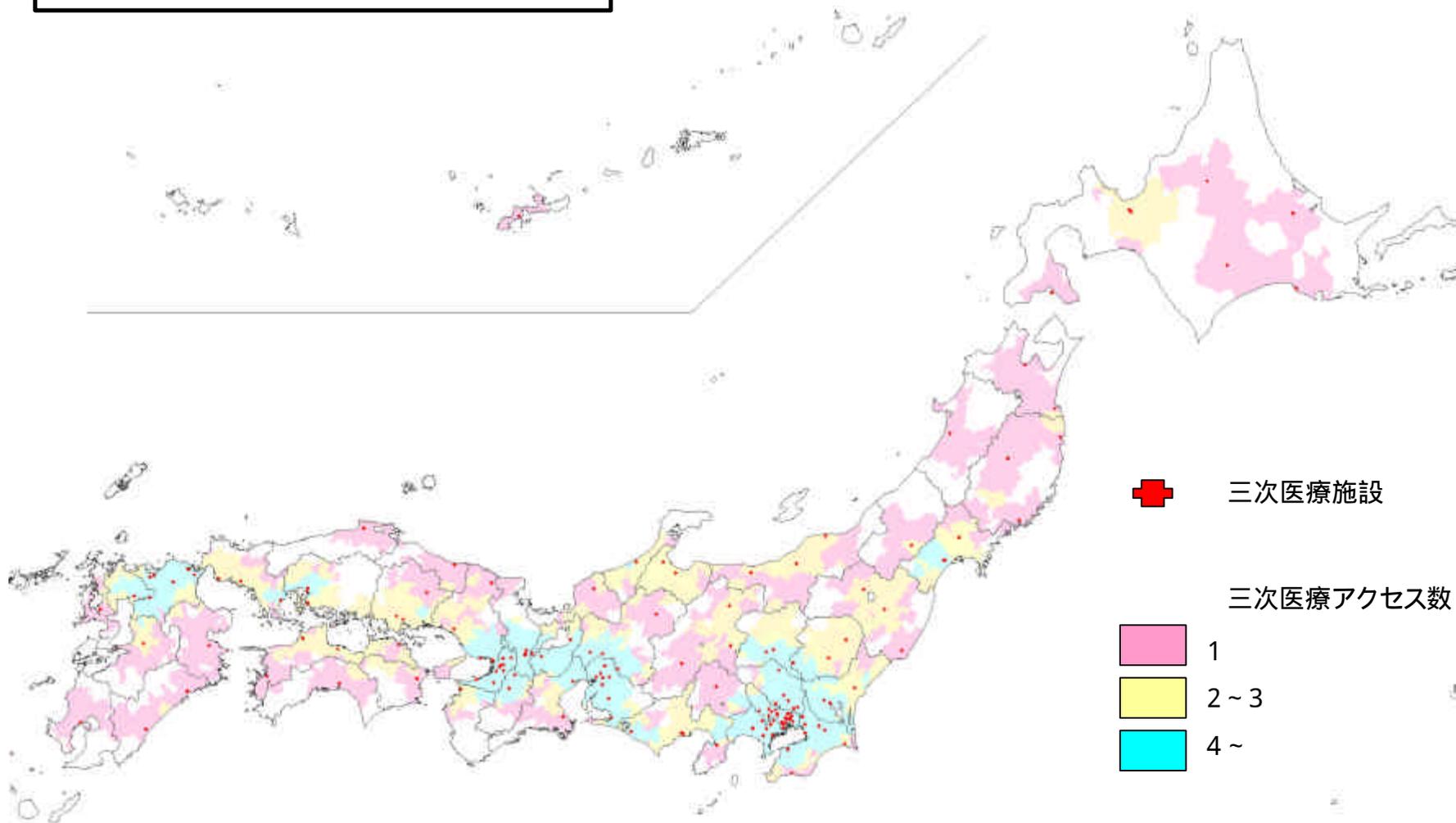


第三次救急医療施設とは、脳卒中、心筋梗塞、頭部外傷等の重篤な患者を24時間体制で受け入れ、高度の診療を提供する救急救命センター等の医療施設。

第三次救急医療施設は平成12年末現在道路は平成13年度

平常時：医療施設へのアクセス性に地域格差が生じている

1時間以内に到達可能な高次医療施設数



事前通行規制により、医療施設へのアクセスが阻害される

医療施設へのアクセスを阻害される人口 約230万人(5年確率)

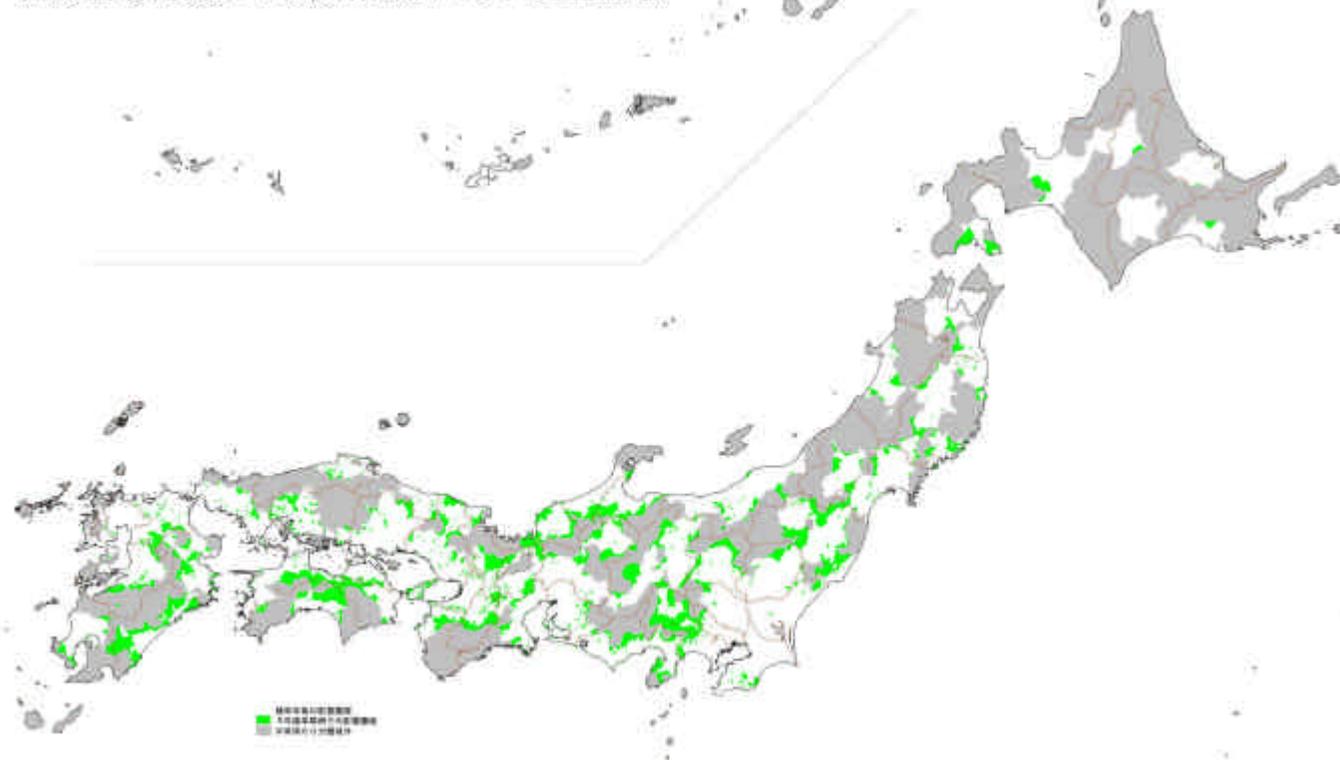
医療施設へのアクセス阻害に関連する事前通行規制区間数 1,444区間(5年確率)

医療施設へのアクセス阻害：平常時は、高次医療施設へのアクセス時間が60分以内であるが、規制によりアクセス時間が60分を超えてしまう

5年確率：

地域により異なる降雨の状況及び区間毎に異なる規制基準雨量に基づき、各規制区間で5年に1度の割合で生ずる事前通行規制

事前通行規制実施による影響圏域図（5年確率降雨時）



- : 5年確率降雨での影響圏域
- : 平常時60分圏域外

